

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第244回

ウィリアム・スミス・クラーク

(クラーク博士) の名言

発行：入試広報室

発行日：令和3年4月6日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

Boys, be ambitious.

少年よ、大志を抱け。

ウィリアム・スミス・クラークは、アメリカ人の教育者。化学、植物学、動物学の教師。農学教育のリーダー。1876年札幌農学校開校。初代教頭。同大学では専門の植物学だけでなく、自然科学一般を英語で教えた。この他、学生達に聖書を配り、キリスト教についても講じた。(Wikipedia 参照)

Column

いよいよ令和3年度がスタートします。今回は、現在のみなさんにピッタリな言葉を紹介します。大志とは『大きなところざし。将来に対する遠大な希望』とあります。遠大とは『遠い将来まで見通して規模が大きいこと』とあります。この言葉はクラーク博士からの『自分の人生を充実したものにするという強い気持ちと“人生”という壮大なテーマに大きな希望を持ちましょう！』というメッセージです。

私がみなさんと同じ高校生だった当時を振り返ってみると、『プロ選手になりたい！』という中学時代に掲げた目標に向かい、夢中で部活動に明け暮れていた毎日で、“大志を抱く”などという自覚はありませんでした。先に“目標”と述べましたが、当時は“夢”でした。それがいつしか目標に変わりました。それがどのタイミングであったかは覚えていませんが、気がついた時には“根拠のない自信”に根拠が生まれていました。結果として目標は達成でき、現在はそのキャリアを活かした仕事に就くことができている。20年以上前に掲げた目標や努力が現在も繋がっているという意味では、『当時の自分は大志を抱いていたのだ』と今になって思います。

みなさんにも叶えたい夢や目標があると思います。ただ、人前で夢や目標を語るという機会は少ない(or 避けている)のではないのでしょうか。その理由の一番大きなものは、人と比べたり、批評されることによって生まれる“不安”だと思います。目標の大小なんてありません。人との違いなんてさらに関係ありません。“傷つきたくない”と自分を目立たないように困うことは自分を大切にすることではありません。私は口に出していくことをオススメします。大いに自分の夢を語り、積極的に挑戦をしていきましょう。

人生を歩む上で大変なことが多いですが、大変とは“大きく変わる”と書きます。いずれにしても大変なことを避けて通ることができないのなら、自分のために敢えて大変なことに挑戦しましょう！努力することは素晴らしいことですし、努力しているからこそ、見えてくるものや得られるものにも広がりが出てくるはず。自分の夢や目標達成の可能性を高められるのは自分自身です。大きな成長を正智深谷高校で遂げるために大きなところざしを持って今年度をロケットスタートで走り出しましょう！